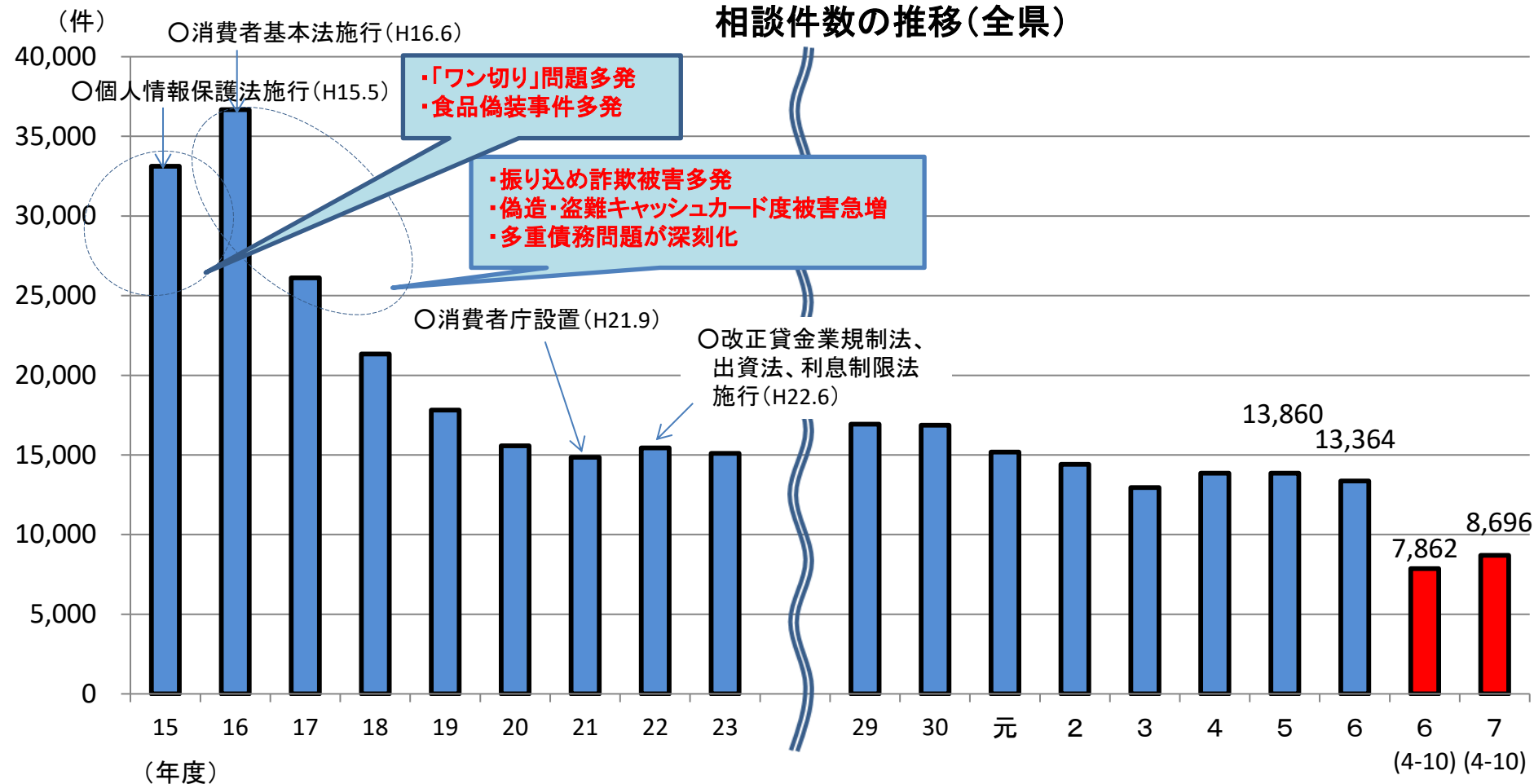


消費生活相談の状況(全県)ー令和7年度10月末現在ー

1 相談件数の推移

- 令和7年度10月末現在の相談件数は、前年度同期から834件増加し8,696件(10.6%増)。
- 支払額1万円以上の相談件数は1,054件で、前年度同期から160件増加した。

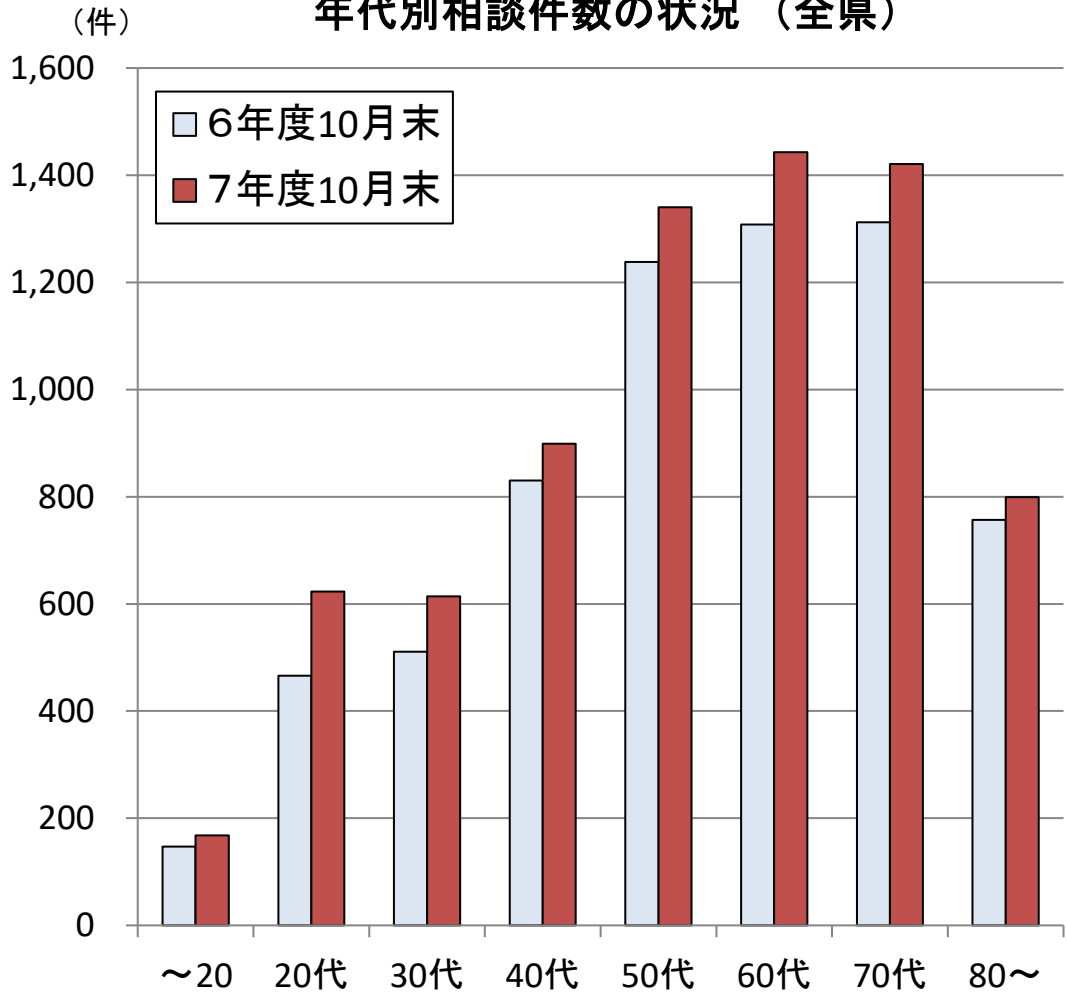
相談件数の推移(全県)



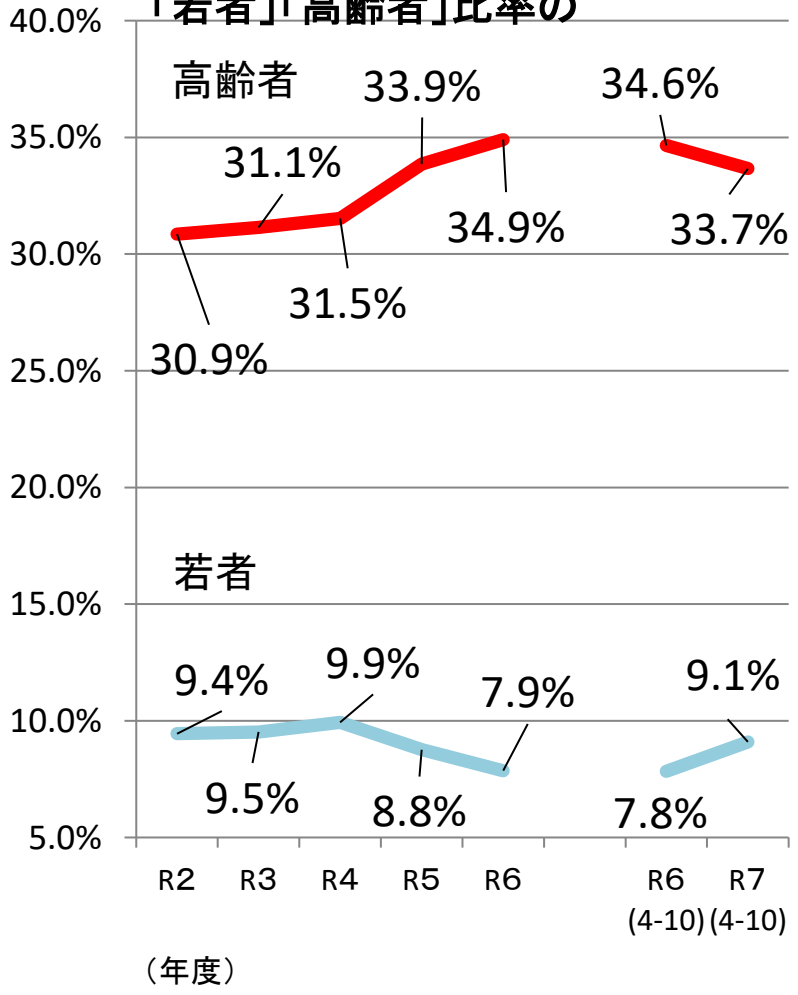
2 年代別相談件数の状況

- 前年度同期比では、他の年代に比べ、20～30代の増加割合が大きい。
- 65歳以上の高齢者の相談件数は203件増加して2,927件となり、全体に占める割合は33.7%。
- 29歳以下の若者の相談件数は175件増加して791件となり、全体に占める割合は9.1%。

年代別相談件数の状況（全県）



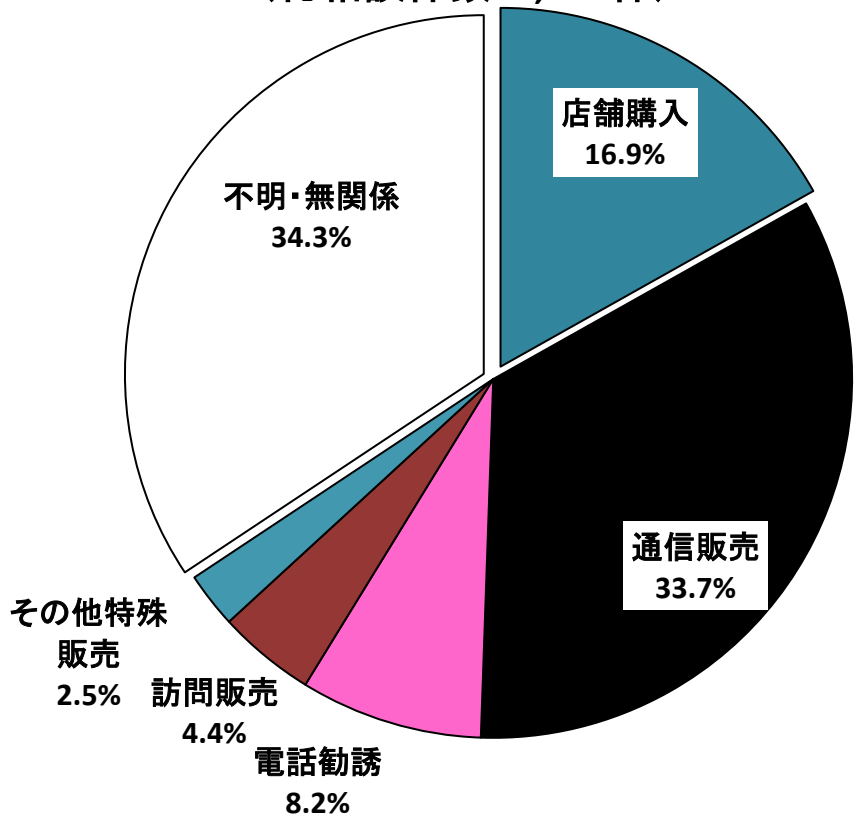
「若者」「高齢者」比率の



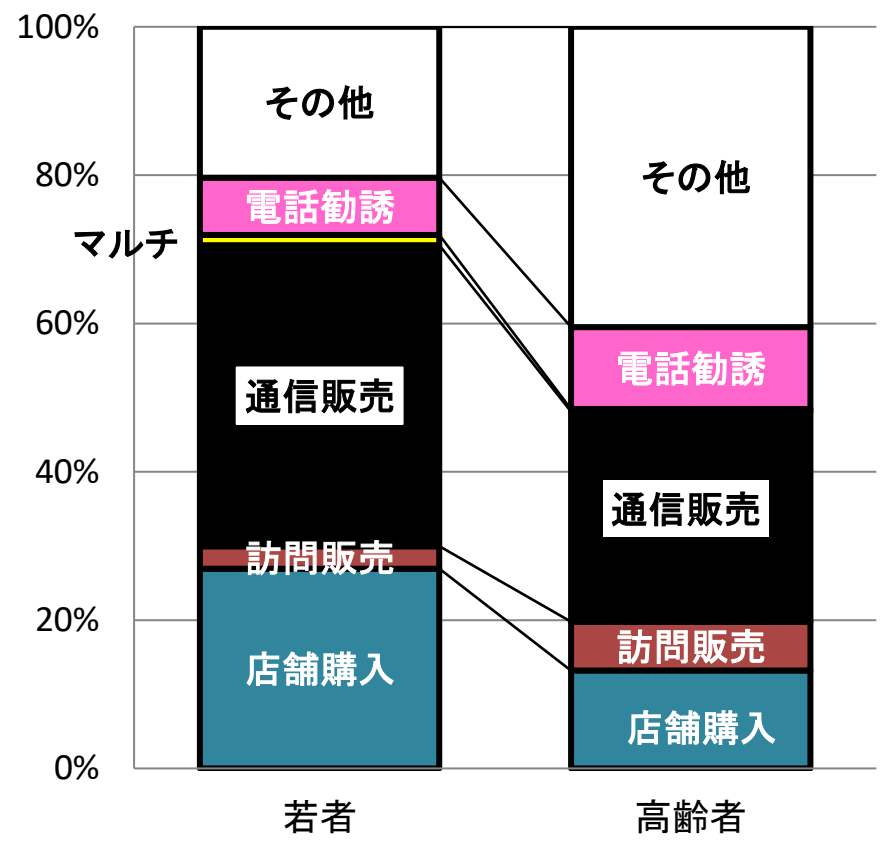
3 販売形態別相談件数の状況(令和7年度10月末)

- 「通信販売」「電話勧誘販売」「訪問販売」等トラブルの多い特殊販売関係が全体の48.8%。
- 「通信販売」は2,930件で前年度同期から294件増加し、全体の33.7%を占め、最多。
 - ・若者…「通信販売」が321件で、前年度同期から17件増加し、相談全体の40.6%を占める。
 - ・高齢者…「通信販売」が829件で前年度同期から109件増加。「電話勧誘販売」が32件増加。若者に比べ「訪問販売」、「電話勧誘販売」の割合が高い。

販売形態別の構成
(総相談件数:8,696件)



「若者」と「高齢者」の販売形態の違い



- 「商品一般」が前年度同期比で144件増加し1,219件で最多。
- 引き続き「化粧品(全体)」「健康食品」が多い。
- 「四輪自動車」「固定電話サービス」が比較的大きく増加。

順位	6年度(13,364件)	7年度4-10月(8,696件)	件数	前年度同期比
1	商品一般	商品一般	1,219	+144
2	化粧品(全体)	化粧品(全体)	539	+32
3	健康食品	健康食品	295	▲74
4	フリーローン・サラ金	フリーローン・サラ金	268	▲12
5	役務その他サービス	不動産貸借	248	+18
6	インターネット接続回線	役務その他サービス	244	+13
7	不動産貸借	インターネット接続回線	227	▲3
8	工事・建築	工事・建築	176	▲9
9	電気	四輪自動車	169	+31
10	四輪自動車	固定電話サービス	169	+68

注)商品一般:商品を特定できないもの。架空請求はがきを含む。

<若者>

- 「エステティックサービス」の相談が前年度同期から74件増加し、最多。

順位	6年度(1,051件)	7年度4-10月(791件)	件数	前年度 同期比
1	商品一般	エステティックサービス	90	+74
2	内職・副業その他	商品一般	51	+5
3	インターネットゲーム	不動産貸借	45	+20
4	フリーローン・サラ金	フリーローン・サラ金	40	+3
5	不動産貸借	インターネットゲーム	35	▲8

<高齢者>

- 「商品一般」は484件で前年度同期から84件の増加。
- 「固定電話サービス」の増加が目立つ。

順位	6年度(4,664件)	7年度4-10月(2,927件)	件数	前年度 同期比
1	商品一般	商品一般	484	+84
2	化粧品(全体)	化粧品(全体)	183	+6
3	健康食品	健康食品	170	+17
4	インターネット接続回線	固定電話サービス	127	+52
5	役務・その他サービス	インターネット接続回線	103	+7

○成年年齢引き下げによる18歳～19歳の相談状況

【18～19歳の相談状況】

○ 件数の比較

R5.4～10月 73件(全体8,372件)割合:約0.9%

R6.4～10月 67件(全体7,862件)割合:約0.9%

R7.4～10月 97件(全体8,696件)割合:約1.1%

全体の相談の中に占める18～19歳の割合は1%前後で推移。

○ 相談者と別の人からの割合が5割弱

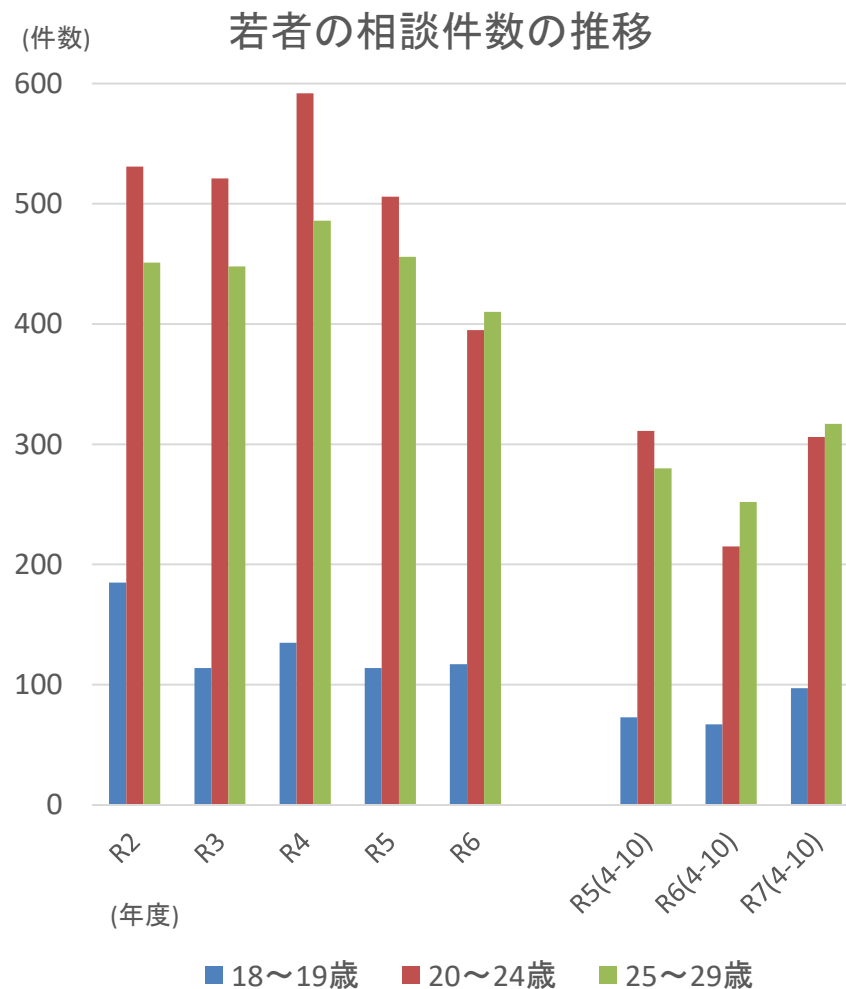
○ 販売形態別では、通信販売が最多

○ 相談の多い商品・役務

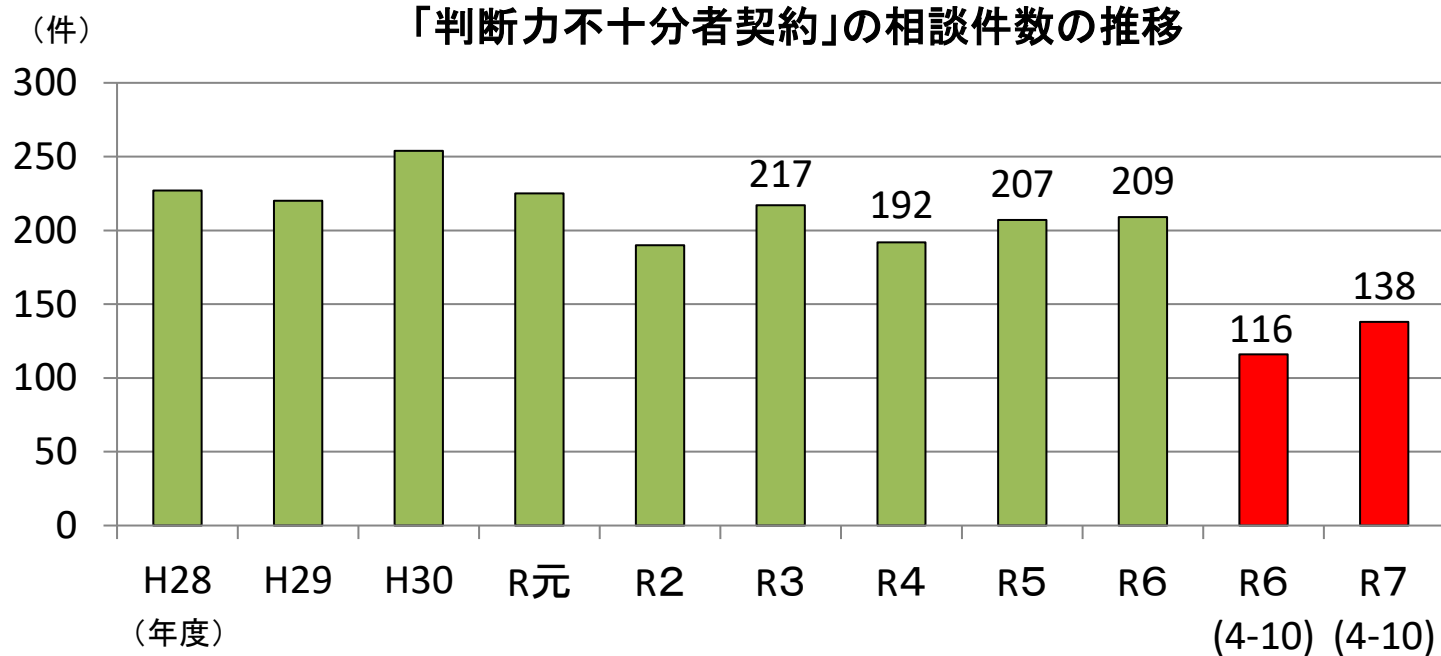
1 エステティックサービス(10)

2 不動産貸借(5)

インターネットゲーム(5)



➤ 「判断力不十分者契約」の相談件数は138件で前年度同期から22件増加。



※ 「判断力不十分者契約」とは、精神障害や知的障害、加齢に伴う疾病等、何らかの理由によって十分な判断ができない状態にある者の契約であることが問題であるもの

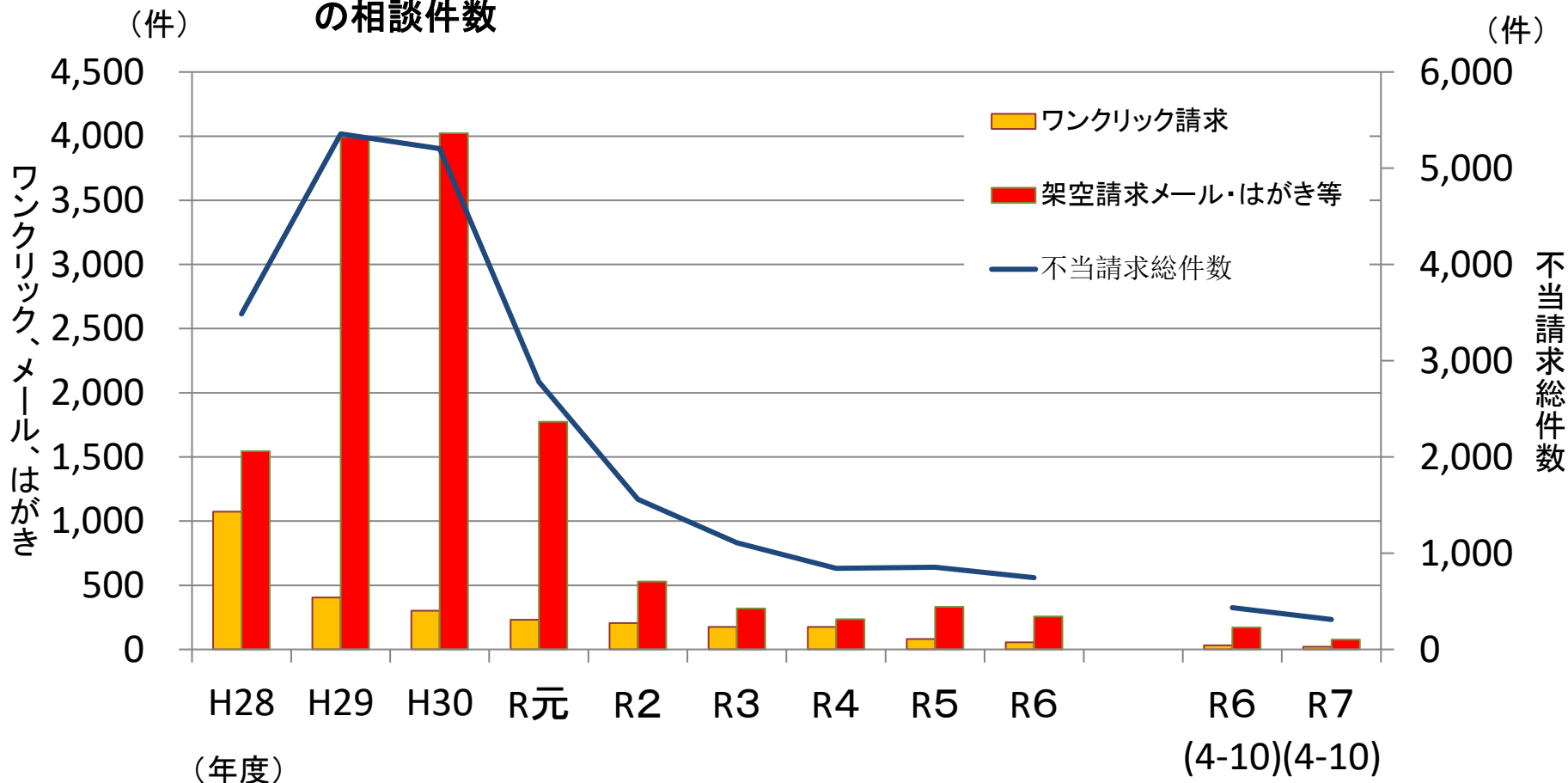
6年度 (209件)		7年度4-10月 (138件)		前年度同期比
1	健康食品	健康食品	14件	±0件
2	商品一般	商品一般	14件	+2件
3	フリーローン・サラ金	役務その他サービス	7件	+4件

5 悪質商法に関する相談状況(令和7年度4-10月)

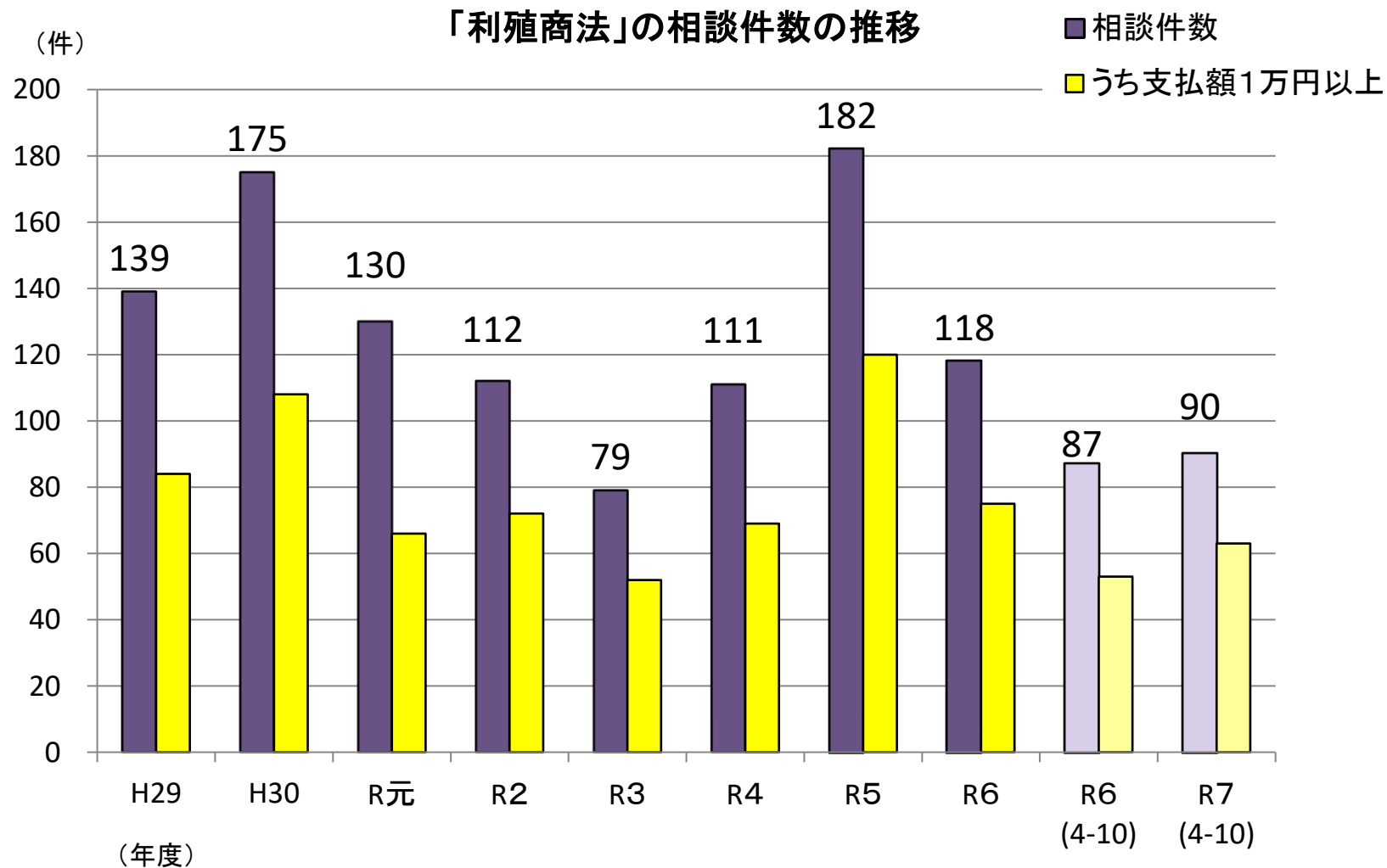
悪質商法	主な手口	相談件数 (うち65歳以上)	前年度 同期比
不当請求	二重請求や、不当な取り立て、根拠のない架空請求、ワンクリック請求など。	311 (86)	▲123 (▲73)
無料商法	「無料」であることをセールストークや広告に使い、商品やサービスを売りつけるもの。	107 (24)	▲11 (▲11)
サイドビジネス商法	「サイドビジネス(副業)になる」等セールストークに、何らかの契約をさせるもの。	115 (5)	▲51 (▲9)
利殖商法	利殖になることを強調して投資や出資の契約をさせるもの。	90 (17)	+3 (▲10)
次々販売	一人の消費者に次から次へと商品やサービスを売りつけるもの。	40 (21)	▲11 (±0)
二次被害	一度被害にあった人を再び勧誘し、被害を与えるもの。	28 (8)	+18 (+5)
点検商法	点検を口実に家に上がり込み、不安をあおって、布団や住宅のリフォームなどを契約させるもの。	44 (28)	▲15 (▲7)
当選商法	「当選した」、「景品が当たった」、「あなただけ選ばれた」などと特別扱いであるように思わせて契約させるもの。	19 (10)	▲15 (±0)
SF商法(催眠商法)	人を集めて日用品等を無料で配り、雰囲気盛り上げて商品を売りつけるもの。	8 (8)	▲10 (▲2)

- 不当請求に関する相談は、311件で前年度同期比で123件の減。
- H29・30年度に「架空請求はがき」により大きく増加した「架空請求」の相談件数は、77件で前年度同期比で95件の減。

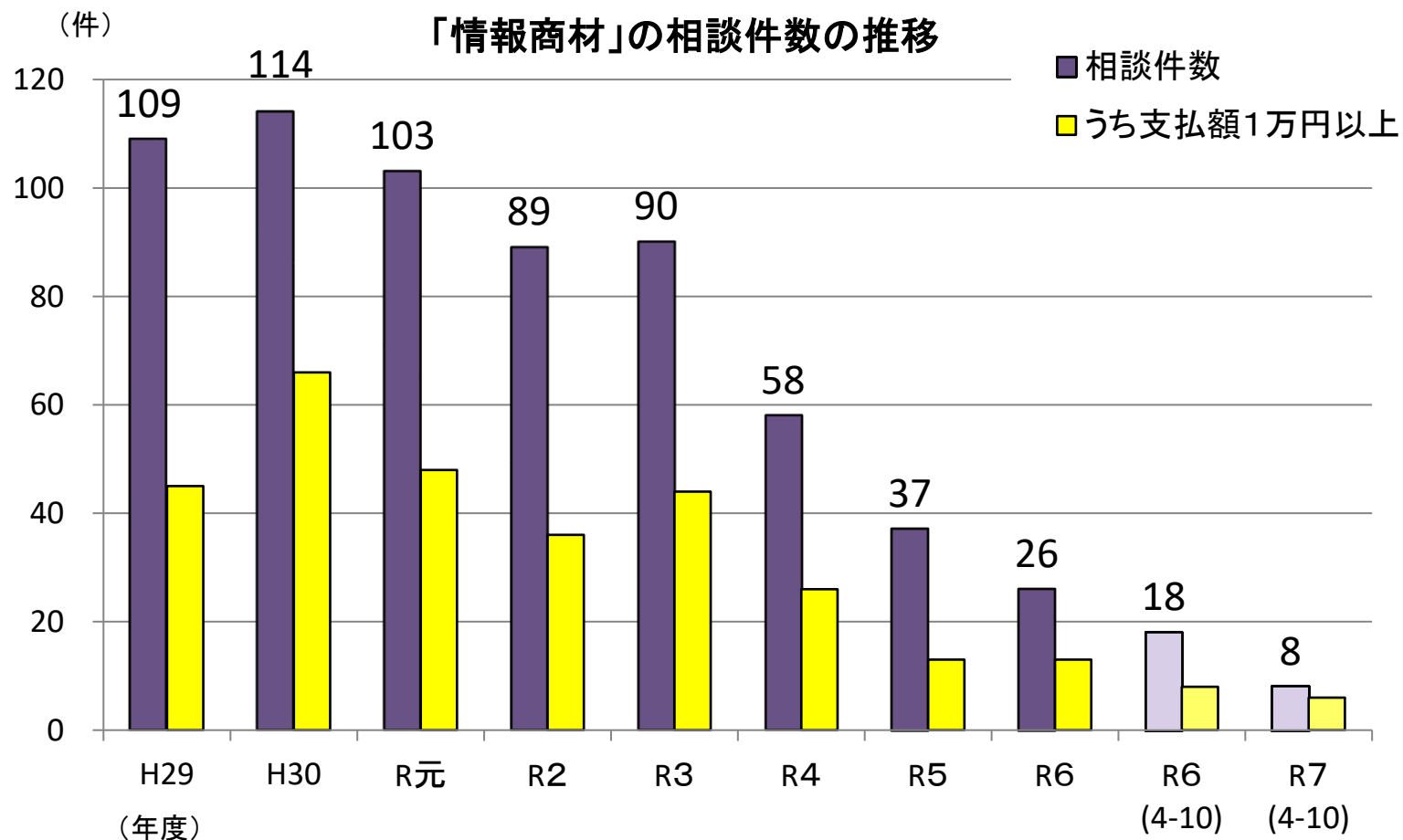
不当請求(「ワンクリック請求」、「架空請求(メール・はがき)等」の相談件数



- 相談件数は90件で、対前年度同期比3件増。
- 支払額1万円以上の相談件数も63件で、10件増。
- 平均支払額は約565万円で約63万円減。

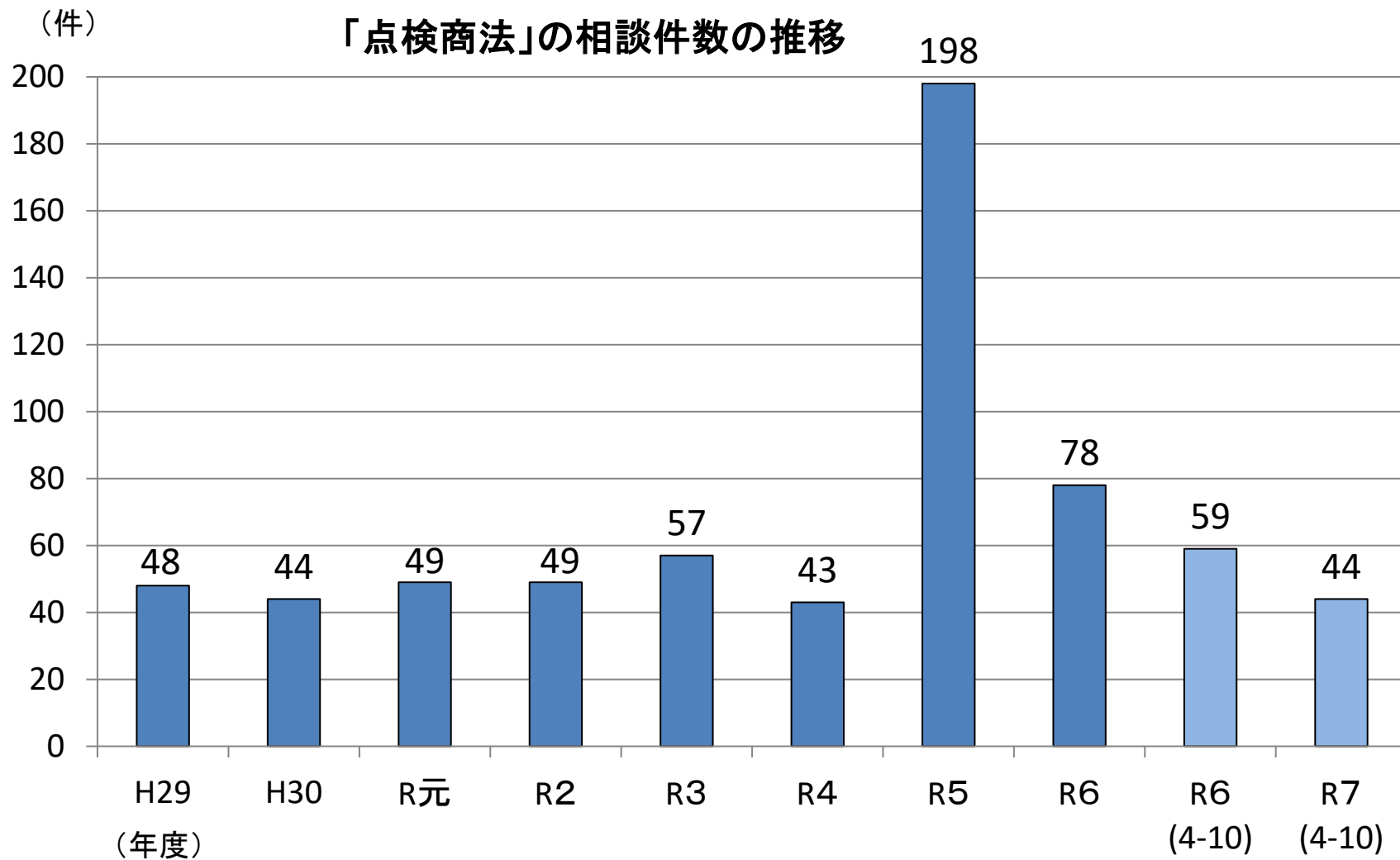


- 相談件数は8件で、前年度同期比10件減。
- 支払額1万円以上の相談件数は6件で、前年同期から2件減。
- 平均支払額は約141万円で約23万円増。



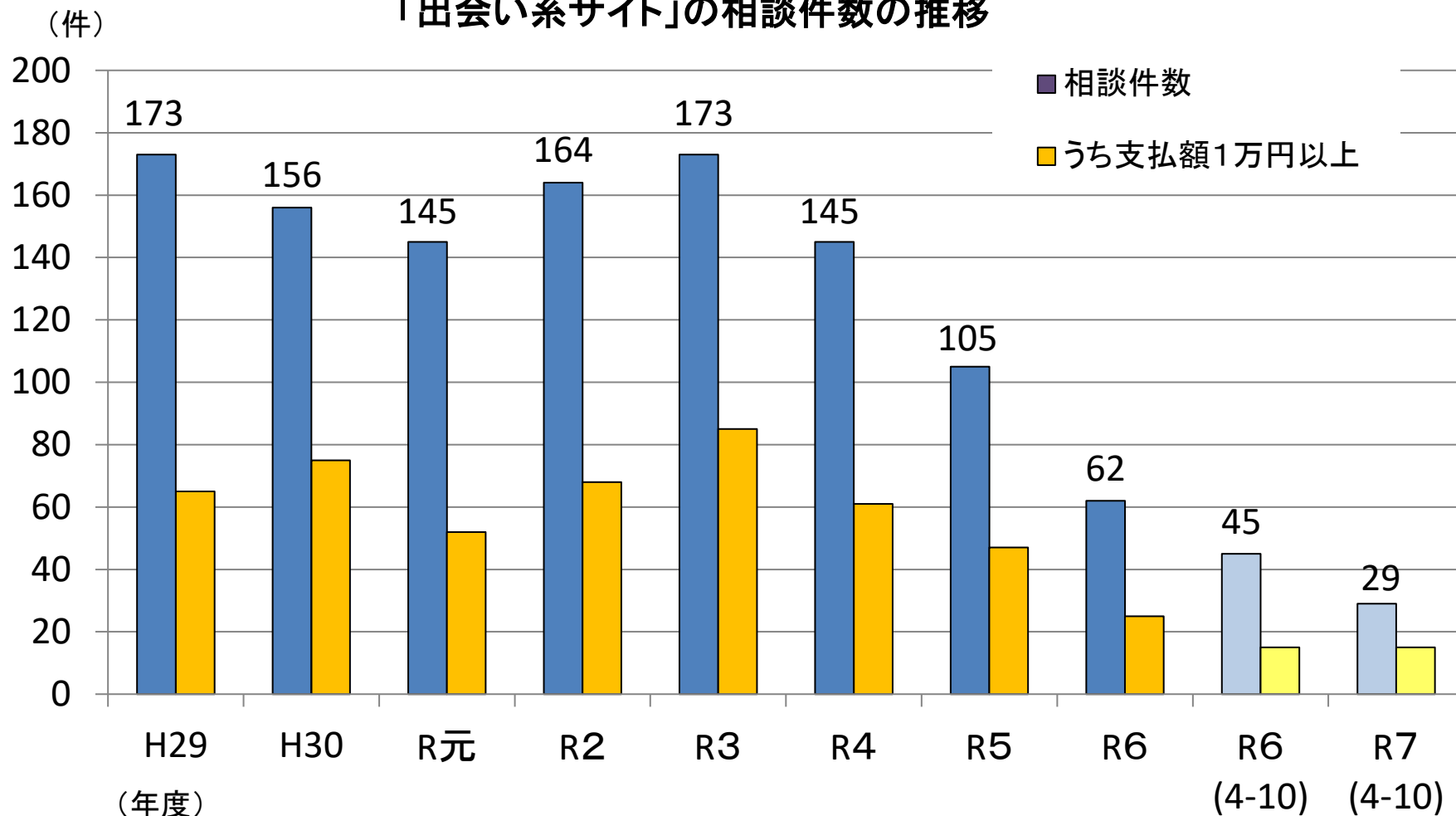
※ 情報商材とは、インターネットの通信販売等で、副業、投資やギャンブル等で高額収入を得るためのノウハウ等として販売されている情報

- 相談件数は44件で前年度同期から15件減。
- 相談の半数以上は高齢者。

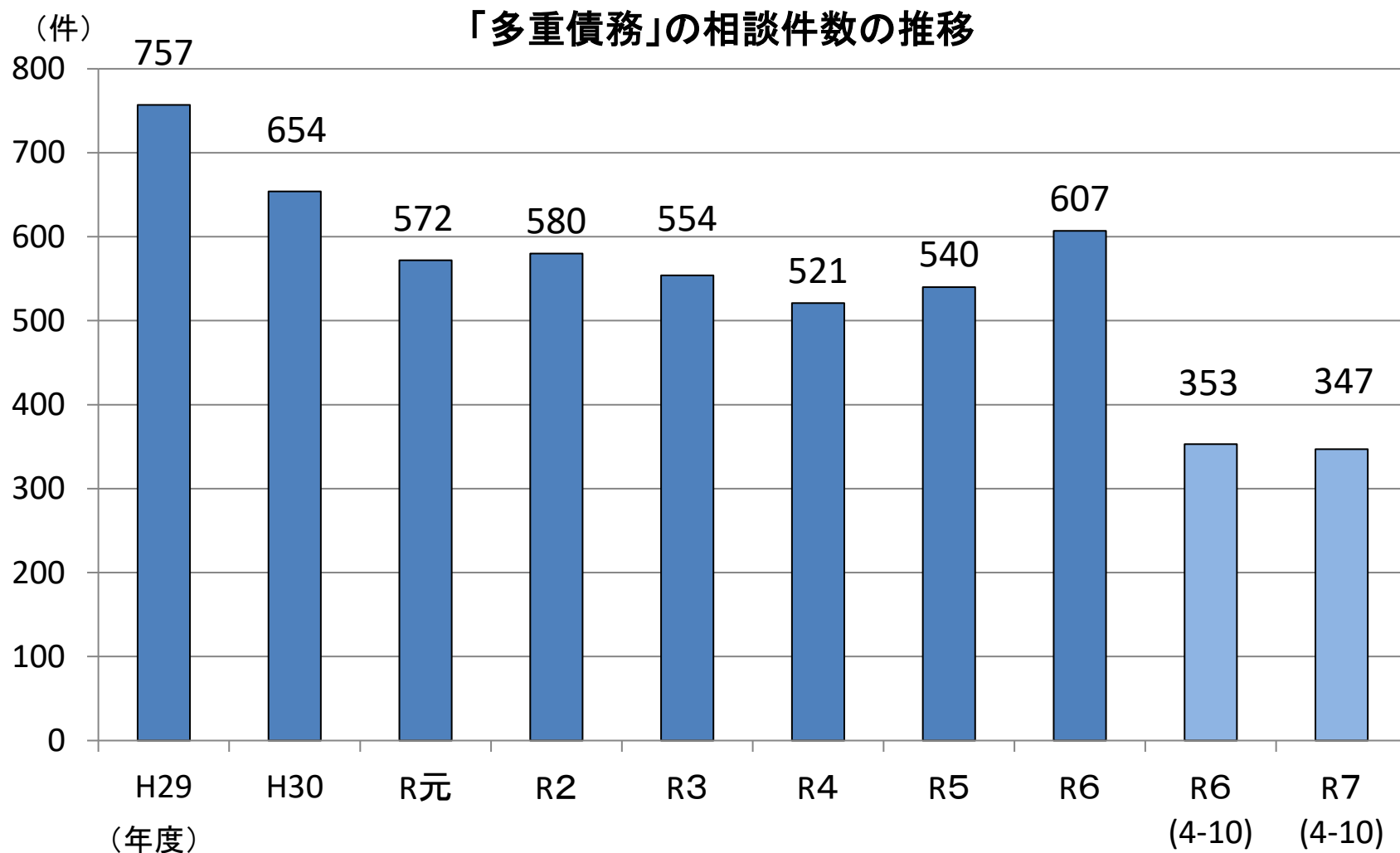


- 相談件数は29件で前年度同期比で16件の減。
- 支払額1万円以上の相談件数は15件で前年度同期と同数。
- 平均支払金額は約45万円で前年度同期比約40万円の減。

「出会い系サイト」の相談件数の推移

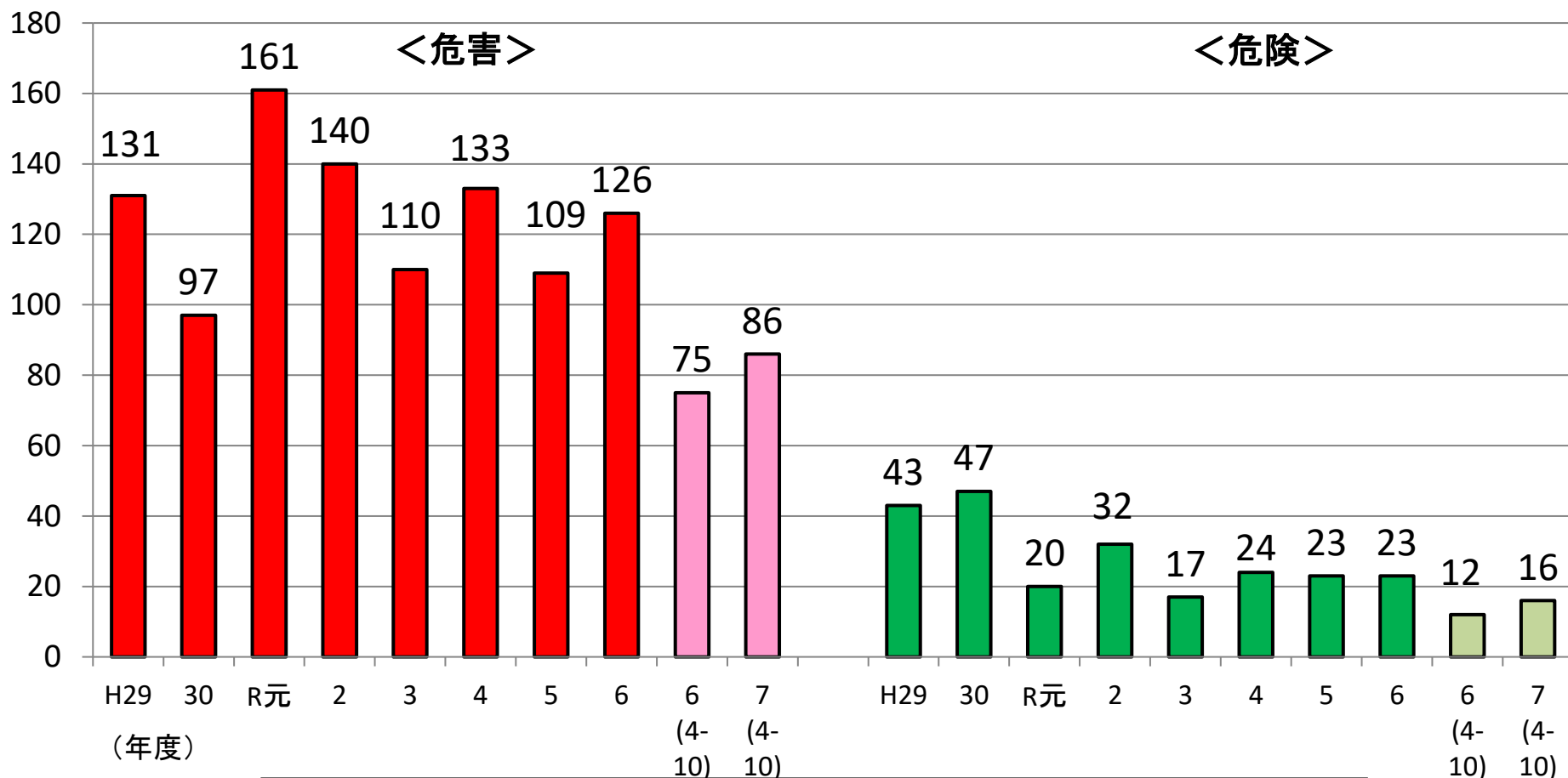


- 相談件数は347件で前年度同期比6件の減。
- 平均借入金額は約383万円の前年度同期比約35万円の増。



- 「危害」は86件で、前年度同期比11件の増。「危険」は16件で4件の増。
- 「危害」は、「化粧品」、「医療」、「健康食品」、「理美容」が上位。
- 「危険」は、「自動車」など。

(件) 「危害」「危険」の相談件数の推移

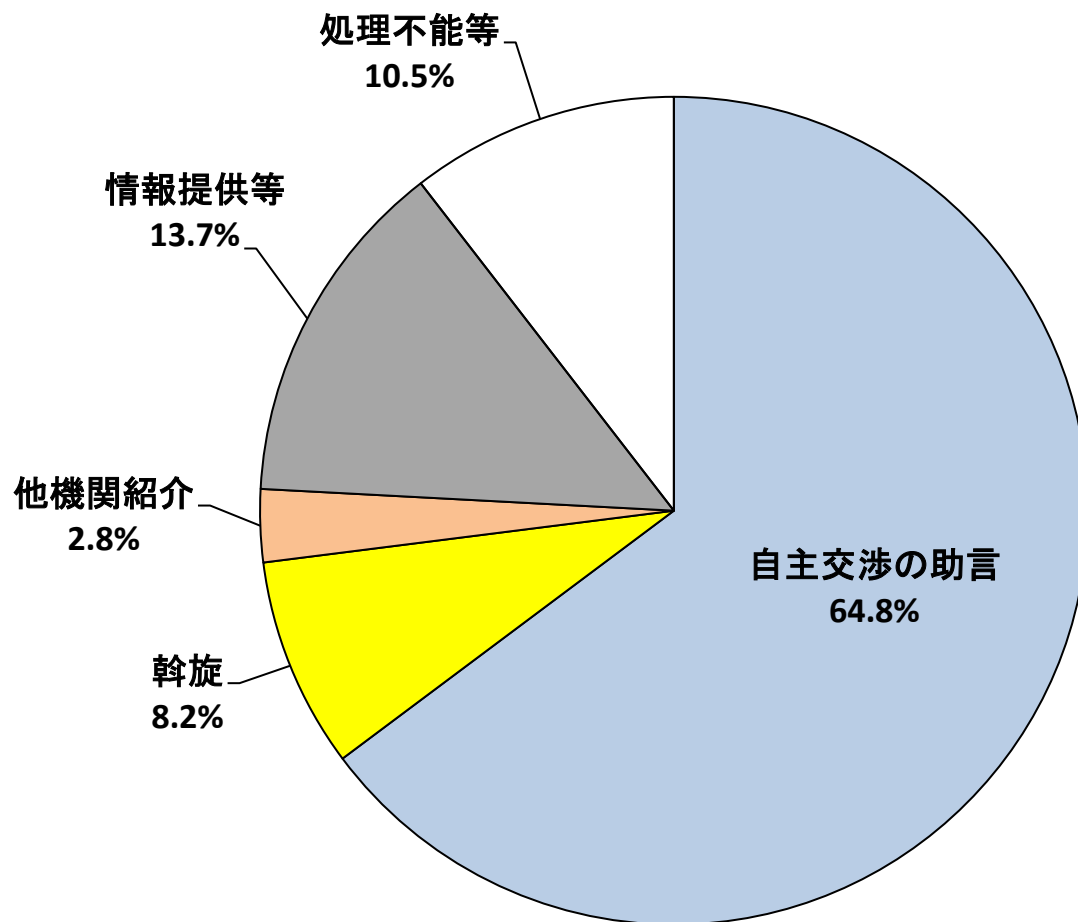


危害：商品などにより人身事故(けが)が起こった場合

危険：商品などにより危害に至っていないが、人身事故のおそれがあるもの

- 「自主交渉の助言」が64.8%、前年度同期比で3.4ポイント減少。
- 「斡旋」件数は715件で、うち斡旋解決が676件、斡旋不調が39件。

相談対応の状況(総相談件数:8,696件)



【参考】令和7年1～12月の特殊詐欺等被害発生状況(県警察調べ・県民生活課) 17

- 令和7年12月末の県内の特殊詐欺被害は、件数が293件で、前年から89件増加。
- 被害額の合計は14億5,260万円で、前年から5億5,382万円増加。
- オレオレ詐欺(中でも警察官を騙る詐欺)が多く発生。

特殊詐欺	被害件数(件)			被害額(万円)		
	令和6年	令和7年	増減	令和6年	令和7年	増減
オレオレ詐欺	73	156	+83	56,453	114,604	+58,151
預貯金詐欺	3	14	+11	441	5,560	+5,119
架空料金請求詐欺	81	88	+7	26,926	17,486	▲9,440
還付金詐欺	30	17	▲13	3,388	1,836	▲1,552
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
合計	204	293	+89	89,878	145,260	+55,382

SNS型投資・ロマンス詐欺	被害件数(件)			被害額(万円)		
	令和6年	令和7年	増減	令和6年	令和7年	増減
SNS型投資詐欺	76	93	+17	79,028	163,627	+84,599
SNS型ロマンス詐欺	56	76	+20	65,044	42,415	▲22,629
合計	132	169	+37	144,072	206,042	+61,970

新潟県消費生活センター



消費者ホットライン

お住まいの郵便番号を確認して、局番なしの**188**に電話で相談!



商品の購入や契約に関するトラブルは

消費者ホットライン

お住まいの
郵便番号を
確認のうえ

局番なし



188



泣き寝入りは「いやや!」

消費生活センター
188
イヤヤン

最寄りの消費生活相談窓口につながります